

インドネシア国内航路 DLU フェリー

元さんふらわああいぼり 乗船記

近藤貴行

2026年2月に、バンジャルマシン～スラバヤを、元さんふらわああいぼり（1997年三菱重工建造）であるDLUフェリーのカルティカ2に乗船した。まだインドネシアに来て3年のため、同社の船隊では最新かも知れない。

今航は、21時にバンジャルマシンを出港、スラバヤには翌日14時到着の18時間（時差1時間）の航海となる。

① 乗船

19時半から乗船開始。先に自転車、バイク、車が乗船して徒歩客が乗船してくるが、往路の元ベガと異なり満席状態で雑魚寝客が多数いる。

タグボートに引かれ定刻より30分遅れで出港、往路では川をゆっくりさかのぼって来たが、下りはかなりの速度で進み間もなく海に出た。

② 車両甲板

ランプは右舷後方のみ使用。2層の車両甲板のうち、大型トラックの下層は分からないが、上層は2割くらいの積み込み状況だった。

③ 旅客設備の配置

旅客設備自体は、日本時代と変わらない。現Aデッキ右舷の展望通路の後方に、ジム設備を設置するのに10mばかりハウスを延長している他は、Aデッキ後部の屋外に簡易なカフェを設けている。また乗組員区画の上部も開放しており、レーダー

マストのすぐ後ろまで近づくことが出来る。

元の2等和室は、エコノミークラスとして2段ベッドが設置されている。大浴場跡は設備はそのままにして、カランを利用してシャワールームを設置していた。

船内の展望通路の一画には、DLU フェリーのミュージアムが設けられていた。同社は創業50年を迎えたため、その歴史を紹介していた。先日ロンボク島～スラバヤに乗船した、キラナ7の模型もあったが同社初の新造船だったのかも知れない。キラナ7の模型を見ていると、よくこんな小さな船で外洋を20時間も走っているなど驚く。このミュージアムも、乗船後しばらくすると雑魚寝客の寝床となり奥まで見れなくなった。

他の船には見られたエコノミーシート席は見当たらない、スペース的に無かったのだろう。元の2等和室以外は、昔のまま使っていると思われる。

④ メンテナンス

内装については、まだインドネシアに渡って短いので、かなりきれいに保たれている。気になるのはトイレを初めとした水まわり。明らかに清掃不足だ。またリノリウム？張りの床もシャワーで水びたしで劣化が早そうだ。

外部デッキは、後部マストに登って水洗いしていた。

⑤ レストラン

日本時代のレストランをそのまま使用。ただしメニューは少なく、支給された弁当も大半が自分のベッドで食べるため、歌のステージ時以外は閑散としている。

⑥ 航海

この船はフィンスタビライザーが無いが、スラバヤ海の縦断するのは特に大きな揺れを感じることなく快適だった。珍しくほぼ定刻どおり入港した。

⑦ インドネシアのフェリーに乗船して感じたこと

今回大小 6 隻いずれも DLU フェリーだったが乗船した。DLU フェリーに乗船したのは、大型の比較的新しい日本の中古フェリーを多数持ち大手のフェリー会社だったためである。インドネシア人がアップした YouTube では、さんふらわあさつまを国内一豪華フェリーと紹介しているものもあった。

当初の予定では、このあとシンガポール近郊の Batam 島までジャカルタから国营ペルニフェリーに乗船するつもりだった。しかしアライバルビザの延長が現在はかなり面倒で時間がかかりそうなので、ペルニ乗船は中止した。

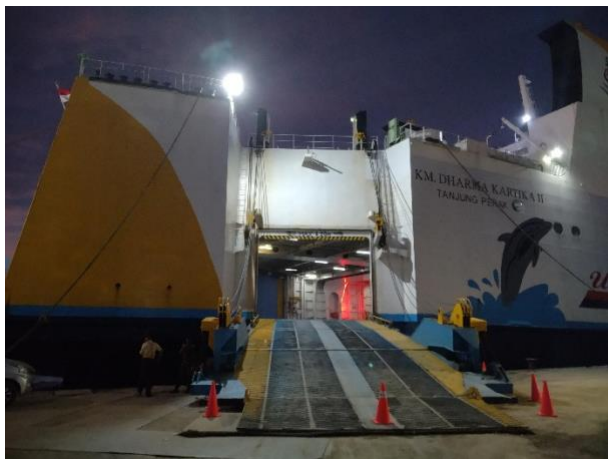
ペルニについては、放浪系の日本人旅行者のブログや YouTube で情報は調べられる。それらを見ると、DLU フェリーよりはるかに衛生面で問題がある。ほぼ間違いなくエコノミークラスのベッドまわりに、黒い虫がウロウロしている。（ただしコロナ禍後はかなり改善されたようだが）これはほとんどの人が、ベッドの上で食事をするためだろう。弁当はかなり汁物が多く、日本人であれば茶わんを持つように弁当も手に持つと思われるが、こちらの人ほとんどがベッドのマットレスに直接置いて食べる。食事後も特にマットレスを拭いている様子もなく、中には弁当のガスをそのあたりに放置している人さえいる。今回私も 1 度枕元で虫を見た。

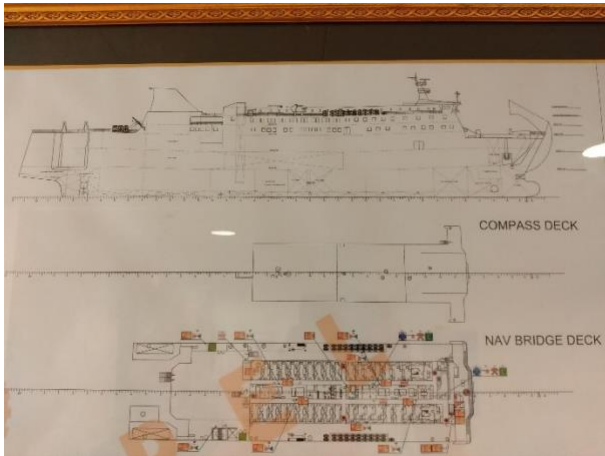
また裸足で船内やデッキを歩く人が、少数だがいる。小さな子供はトイレも気にせず裸足を利用するのもよく見た。また屋外のデッキに座り込む人は老若男女多くいて、少し濡れている場所でも座る人もいる。

さらに日本人に耐えがたいのは、トイレである。シャワー兼用のため、床が常時濡れているし、利用が集中すると水たまりになっている。水洗がわざわざ撤去されている船もある。手おけで水を流す船もあったが、水圧の高いシャワーの場合は汚水が身体にはねかえってくる。

このように、衛生面で日本人が楽しむことは難しい。ただし上級クラスでは、昔の設備をそのまま利用しているから、キャビン内では快適に過ごすことは出来るだろうが、今回は前日から1週間前にチケットを買いに行った際にはすべて売り切れだったから、上級キャビンのニーズはかなり高いのだろう。フィリピンでは、乗船率はどの船でも高かったが、直前までキャビンの空きがあった。

なお乗船予定していたペルニフェリーは、1998年建造のかなり新しい船で、YouTubeで見える限り車両甲板は無く貨客船のようだ。同社は1980年代から大量にマイヤーベルフトで同型船を建造しており、今回乗船予定の船も同じ造船所のようだった。





PRINCIPAL PARTICULAR	
LENGTH (L.O.A)	152,00 M
LENGTH (L.P.P)	140,00 M
BREADTH	25,00 M
DEPTH	16,47 M
DRAFT (MLD)	5,70 M
GROSS TONNAGE	9425 TON
SPEED (SERVICE)	22,4 KNOT
SPEED (TOTAL MAX)	24,8 KNOT
KAPASITAS PENUMPANG	1050 ORANG
KAPASITAS KENDARAAN	120 TRUCK 100 SEDAN
MAIN ENGINE	2 X MAK 10PC2-SV 27.000 PS / 19.800 KW

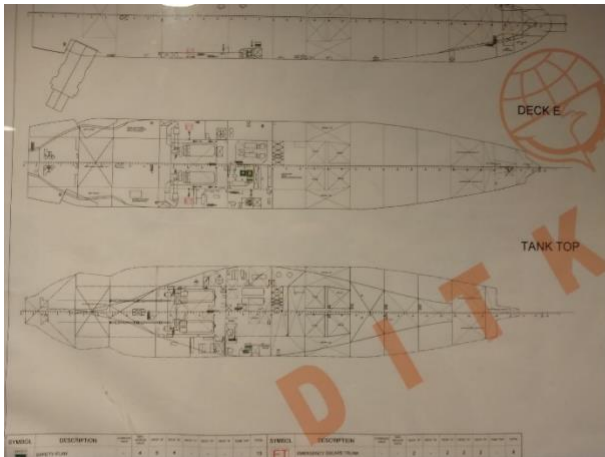
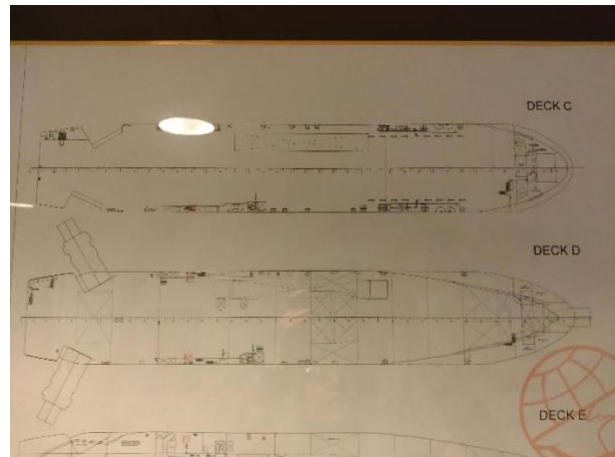
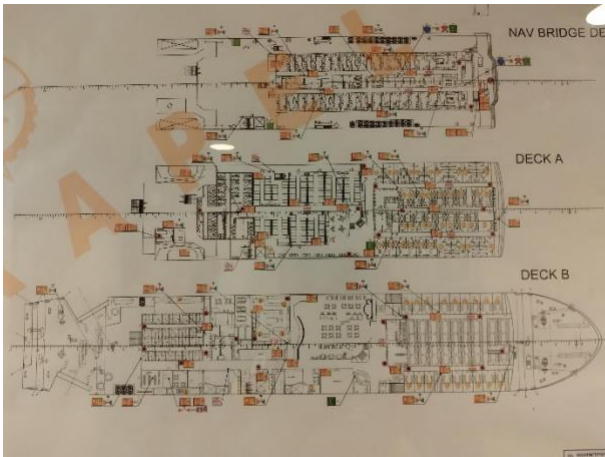
PT. DHARMA LAUTAN UTAMA

FIRE PLAN

KM. DHARMA KARTIKA II

EX. SUNFLOWER IVORY

SKALA : 1 : 200 NO :
 DIGAMBAR : STAF DPA REV 03 05 2023
 DIPERIKSA : DPA



KM. DHARMA KARTIKA 2

DECK A

- KAMAR KELAS VIP
- KAMAR KELAS 1
- KAMAR KELAS 2
- RUANG TIDUR EKONOMI
- RUANG PENGEMUDI
- RUANG BERMAIN ANAK
- TOILET PRIA & WANITA

DECK A

- LOBBY INFORMASI
- KAMAR KELAS 2
- KAMAR KELAS 3
- RESTORAN
- RUANG MEDIS
- RUANG KARAOKE
- RUANG IBU MENYUSUI
- MUSHOLLA
- TOILET PRIA & WANITA

DECK B

- DECK KENDARAAN TRUK BESAR
- DECK KENDARAAN TRUK SEDANG
- DECK KENDARAAN KECIL (SEDAN, MINIBUS, JEEP, SEPEDA MOTOR)

DECK C

- DECK KENDARAAN TRUK BESAR
- DECK KENDARAAN TRUK SEDANG

DECK D

We Serve The Nation
with Allah's Blessing and Your Support





Perunjukkan Live Music

SESSION 1	09.00 - 11.00 LT
SESSION 2	15.00 - 17.00 LT
SESSION 3	

Miss. Ayubi

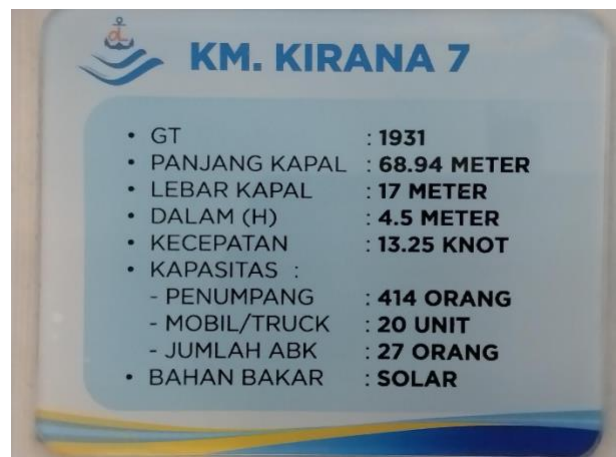
Mr. Yudi

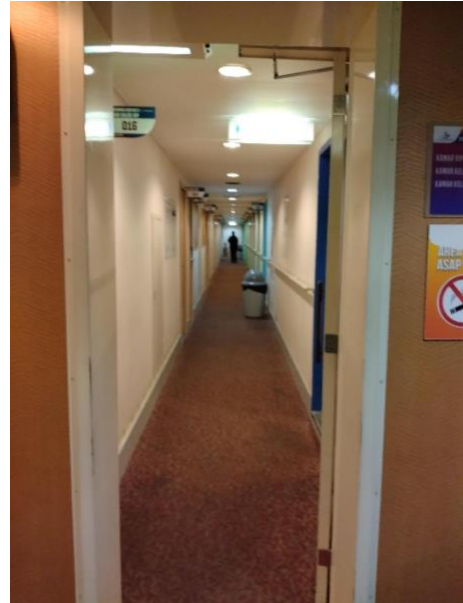
Miss. Putri

We Serve The Nation
Maka angkat tangan dari para "Tribunial"









上段左 マッサージサービス

下段左 スラバヤで改修中の元さんふらわあしれとこ

上段右 スラバヤ湾内停泊中の元おーしゃんさうす (ムティアラフェリンド 1)



